



見学場所



一級河川 吸川 放水路トンネルの見学会

平成29年6月9日、一関市立南小学校の4年生82名が社会学習の一環として「吸川放水路トンネル」を見学しました。普段立ち入る事ができないトンネルの中で、管理者である県南広域振興局土木部一関土木センターの職員が施設の役割や大きさなどについて分かりやすく説明し、「くらしと水」に関わる学習をしました。



カスリン・アイオン台風70年の説明



吸川放水路トンネルの役割について説明



放水路トンネルの中を見学

一級河川吸川は、市内中心を流れる河川であり、大雨時には頻繁に氾濫し再三市民を悩ませてきました。こうしたことから、延長1,631mの放水路トンネルで市内の洪水を防御するべく、昭和47年に着工され昭和56年に完成しました。

大林水門

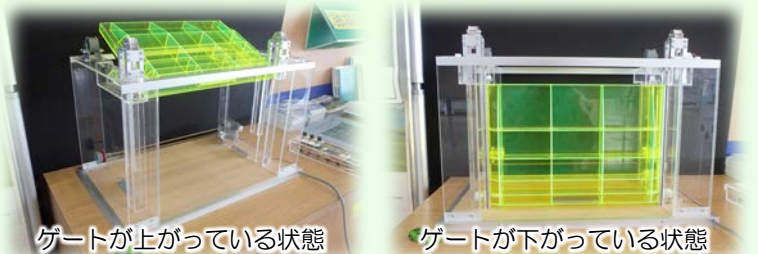


施工業者：(株)丸島アクアシステム

※完成すれば一関遊水地で最大のゲート面積（幅21.5m、高さ14.8m、2門）の水門になります。

「あいぽーと」からお知らせ

今回、現在施工中である一関遊水地「大林水門」の横転式ローラーゲートの模型展示が始まりました。北上川学習交流館「あいぽーと」では、一関遊水地事業のあゆみについて、パネル展も実施しております。ぜひ来館下さい。



ゲートが上がっている状態

ゲートが下がっている状態

横転式ローラーゲートの模型

◆◆編集後記◆◆6月も中旬となり、天気も不安定な日が続いてますね。そろそろ梅雨入りでしょうか？北東北の梅雨平均期間は6/12～7/27の46日間だそうです。今年は短いといいですね♪(み)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～